

平成26年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年9月5日
上場取引所 東

上場会社名 ベルグアース株式会社
 コード番号 1383 URL <http://www.bergearth.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 一彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 越智 正勝 (TEL) 0895-20-8231
 四半期報告書提出予定日 平成26年9月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年10月期第3四半期の業績 (平成25年11月1日～平成26年7月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年10月期第3四半期	2,713	6.7	4	△93.7	146	64.1	86	62.3
25年10月期第3四半期	2,541	5.7	69	70.7	89	80.4	53	128.9

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年10月期第3四半期	68	29	—	—
25年10月期第3四半期	42	09	—	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年10月期第3四半期	3,055	—	1,113	—	36.4	—
25年10月期	2,643	—	1,035	—	39.2	—

(参考) 自己資本 26年10月期第3四半期 1,113百万円 25年10月期 1,035百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
25年10月期	—	0.00	—	7.00	7.00	—
26年10月期	—	0.00	—	—	—	—
26年10月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年10月期の業績予想 (平成25年11月1日～平成26年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	4,080	7.1	160	△19.7	300	34.7	183	30.4	144	11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年10月期 3 Q	1,269,900株	25年10月期	1,269,900株
-------------	------------	---------	------------

② 期末自己株式数

26年10月期 3 Q	64株	25年10月期	41株
-------------	-----	---------	-----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年10月期 3 Q	1,269,848株	25年10月期 3 Q	1,269,900株
-------------	------------	-------------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策への期待感から円安・株高が進み、景気は緩やかに回復してきたものの、平成26年4月1日からの消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社の属する農業分野におきましても、農家の高齢化及び後継者不足に加え、TPP交渉参加や人口減少に伴う国内市場の縮小など、依然として厳しい状況が続いております。また、平成26年2月に関東甲信を襲った記録的な大雪により、ビニールハウス等の農業施設が倒壊するなど甚大な雪害が発生いたしました。この大雪により当社の設備に被害は無かったものの、売上面では2月中旬～3月末に定植を予定していた農家からの受注が一時的に減少いたしました。

このような状況のもと、当社は野菜苗の生産能力拡大を図るための茨城農場の増設、品質及び生産性向上のための本社農場の改築等、積極的に設備投資を実施いたしました。

上記の結果、当第3四半期累計期間の売上高は2,713,175千円と前年同四半期と比べ171,270千円(6.7%)の増収となったものの、人材及び研究開発部門への投資を積極的に実施した結果、営業利益は4,361千円と前年同四半期と比べ65,099千円(93.7%)の減益となりました。一方、経常利益は補助金収入等の営業外収益の増加等により146,111千円と前年同四半期と比べ57,065千円(64.1%)の増益、四半期純利益は86,724千円と前年同四半期と比べ33,278千円(62.3%)の増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(野菜苗生産販売事業)

当第3四半期累計期間の売上高は、2月の大雪による一時的な減収があったものの、4月以降は茨城農場の増設効果やトマト苗の需要拡大等により受注が増加した結果、2,478,353千円と前年同四半期と比べ170,158千円(7.4%)の増収となりました。

損益面につきましては、農場の拡大に加え、人材及び研究開発部門への投資を積極的に実施した結果、セグメント利益(営業利益)は245,328千円と前年同四半期と比べ41,625千円(14.5%)の減益となりました。

品目分類別の売上高は次のとおりであります。

品目分類	売上高(千円)	前年同四半期比(%)
トマト苗	909,933	114.6
キュウリ苗	734,089	101.7
ナス苗	315,629	104.1
スイカ苗	205,172	100.0
メロン苗	130,101	105.8
ピーマン類苗(注)	52,580	96.3
その他	130,846	123.0
合計	2,478,353	107.4

(注) ピーマン類として、ピーマン・パプリカ・シシトウ・トウガラシをまとめて表示しています。

規格分類別の売上高は次のとおりであります。

規格分類	売上高 (千円)	前年同四半期比 (%)
ポット苗 (7.5cm~15cm)	1,335,878	103.8
当社オリジナル(アーストレート苗、ヌードメイク苗、e苗シリーズ、ウイルスガード苗等)	693,171	108.9
セル苗 (288穴~72穴)	439,434	115.7
その他	9,869	223.1
合 計	2,478,353	107.4

(注) ポット苗は、ポリエチレンのポット(ポリ鉢)で育苗した一般的な苗であり、ポットのサイズが大きくなると苗のサイズも大きくなります。セル苗は、小さな穴が連結した容器(セルトレー)で育苗した苗であり、穴数が増えると苗のサイズが小さくなります。

納品地域分類別の売上高は次のとおりであります。

納品地域分類	売上高 (千円)	前年同四半期比 (%)
北海道・東北	427,113	116.3
関東	821,641	104.8
中部・甲信越・北陸	460,208	104.8
近畿・中国・山陰	444,235	100.7
四国	160,766	109.3
九州・沖縄	164,386	127.2
合 計	2,478,353	107.4

(流通事業)

当第3四半期累計期間の売上高は、培養土等の農業資材販売が増加した結果、238,802千円と前年同四半期と比べ5,091千円(2.2%)の増収となりました。

損益面につきましては、原価率の改善及びコスト削減の効果があったものの、15,235千円のセグメント損失(営業損失)(前年同四半期は21,019千円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べ412,115千円(15.6%)増加の3,055,170千円となりました。これは、受取手形及び売掛金が204,139千円減少した一方で、現金及び預金が83,441千円、たな卸資産が223,990千円、有形固定資産が272,001千円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債は、前事業年度末と比べ334,121千円(20.8%)増加の1,941,787千円となりました。これは、支払手形及び買掛金が64,656千円、短期借入金が100,000千円、未払金が51,261千円、長期借入金が147,398千円それぞれ増加したこと等によるものであります。

純資産は、前事業年度末と比べ77,994千円(7.5%)増加の1,113,382千円となりました。これは、四半期純利益の計上等により利益剰余金が77,835千円増加したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年10月期の業績予想につきましては、当第3四半期累計期間において概ね計画通り推移していることから、平成25年12月13日に公表した業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年10月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	307,351	390,792
受取手形及び売掛金	811,028	606,888
商品及び製品	7,387	7,505
仕掛品	44,986	213,116
原材料及び貯蔵品	70,769	126,512
その他	43,133	77,968
貸倒引当金	△1,067	△940
流動資産合計	1,283,590	1,421,844
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	605,598	914,148
機械及び装置(純額)	107,439	111,116
土地	452,854	466,563
その他(純額)	64,729	10,795
有形固定資産合計	1,230,622	1,502,623
無形固定資産	36,664	35,656
投資その他の資産	92,177	95,045
固定資産合計	1,359,464	1,633,325
資産合計	2,643,054	3,055,170
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	375,822	440,478
短期借入金	250,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	170,534	188,630
未払金	98,292	149,553
未払法人税等	52,308	—
賞与引当金	44,000	21,570
その他	58,874	62,626
流動負債合計	1,049,832	1,212,858
固定負債		
長期借入金	531,322	678,721
資産除去債務	25,843	26,220
その他	668	23,987
固定負債合計	557,834	728,929
負債合計	1,607,666	1,941,787
純資産の部		
株主資本		
資本金	331,494	331,494
資本剰余金	241,494	241,494
利益剰余金	459,867	537,703
自己株式	△66	△100
株主資本合計	1,032,789	1,110,590
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,597	2,791
評価・換算差額等合計	2,597	2,791
純資産合計	1,035,387	1,113,382
負債純資産合計	2,643,054	3,055,170

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年7月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年7月31日)
売上高	2,541,905	2,713,175
売上原価	1,928,340	2,086,584
売上総利益	613,564	626,590
販売費及び一般管理費	544,103	622,229
営業利益	69,460	4,361
営業外収益		
受取利息	25	69
受取配当金	406	542
受取手数料	8,266	4,893
補助金収入	9,050	138,744
貸倒引当金戻入額	1,875	127
その他	4,383	3,038
営業外収益合計	24,006	147,415
営業外費用		
支払利息	4,406	5,129
その他	15	536
営業外費用合計	4,421	5,665
経常利益	89,045	146,111
特別利益		
有形固定資産売却益	9	—
受取保険金	435	—
特別利益合計	445	—
特別損失		
有形固定資産除却損	10	20
リース解約損	—	274
損害賠償金	—	4,112
特別損失合計	10	4,407
税引前四半期純利益	89,480	141,704
法人税、住民税及び事業税	26,291	12,316
法人税等調整額	9,743	42,663
法人税等合計	36,035	54,980
四半期純利益	53,445	86,724

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期累計期間(自 平成24年11月1日 至 平成25年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	野菜苗生産販売 事業	流通事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,308,194	233,710	2,541,905	—	2,541,905
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,308,194	233,710	2,541,905	—	2,541,905
セグメント利益又は損失(△)	286,954	△21,019	265,935	△196,474	69,460

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△196,474千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期累計期間(自 平成25年11月1日 至 平成26年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	野菜苗生産販売 事業	流通事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,474,372	238,802	2,713,175	—	2,713,175
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,980	—	3,980	△3,980	—
計	2,478,353	238,802	2,717,155	△3,980	2,713,175
セグメント利益又は損失(△)	245,328	△15,235	230,093	△225,731	4,361

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△225,731千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。